



# 山王台だより7月号

令和元年 6月28日  
横浜市立山王台小学校  
〒235-0016  
横浜市磯子区磯子5丁目2-1  
TEL045 (755) 1107

【学校教育目標】自分のよさに気付き、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

## もうすぐ 夏休み

校長 志田 一彦

ひと雨ごとに草木がぐんぐんと成長し、緑が美しく映える頃となりました。学校の正門に通じる坂道の土手の草花も夏の装いをし、まぶしい太陽の光を浴びながら咲き誇っています。

7月の声を聞くと、もうすぐ夏休みです。「夏休み」という言葉だけで、子どもたちは開放感に浸り、今年の夏休みにはどんなことをしようか、どんな時間を過ごそうかと、期待に胸を膨らませることだと思います。ご家庭では、子どもたちのそんな思いや願いを大切にし、子ども自身がめあてや計画についていろいろ考え、実行できる計画を立てられるようご助言をお願いします。

私にとって小学校時代の夏休みといえば、早朝のラジオ体操、蝉やクワガタ捕り、夏祭りの盆踊りや出店、花火大会、母の実家への帰省等、ワクワク、ドキドキした体験が思い出されます。

今でも鮮明に覚えているのは、私が小学校2年生のとき、母の実家へ帰省した夏のことです。

その当時、母の実家では、ご飯を炊いたりお風呂を沸かしたりするのに薪を使っており、食事は土間で食べ、お風呂は五右衛門風呂に入っていました。家の前には小川が流れ、毎日のように従兄弟と蟹や魚を捕って遊んでいました。寝る際には蚊帳を吊り、蚊取り線香の香りに包まれながら床に入りました。

母の実家で過ごしたのは20日間ほどでしたが、横浜の生活しか知らなかった私にとって、田舎の生活は別世界のように、忘れられない夏の思い出として今でも心に刻まれています。

夏休みになると、学校で過ごしてきた時間を家庭や地域で過ごすようになります。山王台小の子どもたちも、この夏、家庭や地域の様々な行事やイベントに参加し、かけがえのない思い出をつくることでしょう。それぞれの活動は、保護者や地域の方々の「子どもたちの心に夏休みの楽しい思い出を残したい。」という思いや願いによって支えられていることと思います。まさに夏休みは「家庭や地域の中で育つ子ども」を実感するときです。

夏休みという時間的なゆとりがある中で、子ども自身が目標や計画を立て、その実現に向かって、自ら進んで自分の力で毎日を送れるようにしたいものです。子どもたちが、夏休みだからこそできる多くの体験を通して、「ひと」「もの」「こと」に関わり、いつまでも心に残る楽しい夏休みを過ごしてほしいと願っています。

音楽朝会…ぜひ、ご来校ください。

7月の歌「にじ」

7月16日（火）8時20分より